

令和7年度 学校関係者評価実施用紙（会議等用）

学校番号	1	学校名	下田高等学校（定時制）	記載者	三枝 まこと
------	---	-----	-------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	すべてに優先する安心安全な学校づくり	教員による登下校指導の実施、賀茂地区学校安全ネットワークの活用により、交通事故等を0にする。グッドマナー講習会を通して、生徒の交通安全意識の向上を図り、講習会満足度4段階評価平均3以上にする。	A	A	2026年4月からの自転車の「青切符」の導入に対する指導を徹底する。 登校指導・マナー講座が交通安全の意識向上につながっており、今後の指導を期待する。
		主権者・人権講座の生徒満足度を4段階評価平均3以上にする。	A	A	・主権者、人権はとても重要であり、工夫し深化させることを期待する。
		いじめアンケートを各学期で実施し、いじめの認知をためらわないとともに、重大事態の発生件数を0にする。	A	A	・いじめ認知において迅速に対応し未然防止していることは評価する。 ・今後も情報共有体制の充実を期待する。
		年間3回ケース会議等により教職員間の情報共有を行うことで重大事故を0にする。	A	A	・今後も情報共有のさらなる充実を期待する。 ・関係機関との連携による組織的な支援の継続を期待する。
		薬学講座・ライフスキル講座の生徒満足度4段階評価平均3以上にする。	A	A	・食育は生きるための基本であり、生命の安全教育取組を進み入れていくことを期待する。 ・生徒の満足度の高さは評価する。
		健康観察を毎日確実に実施し、夏季休業明け個別健康相談を通して生徒の心身の健康状態について把握する。	A	A	・今後も教職員の気配り目配りを期待する。 ・丁寧な健康観察に加え、メンタル面にも配慮し、小さな気づきを大切にすることを期待する。
		地震災害を想定した防災訓練を計画的に実施する。地域の組織による防災意識を高める講座を行う。	A	A	・地域訓練にも積極的に参加することを期待する。 ・様々な想定訓練を行い、いざという時に備えられることを期待する。

様式第4号

イ	自立心を持った生徒を育てる生徒指導の充実	生徒会を中心に挨拶運動を年間5回実施し、自ら挨拶のできる生徒の割合を90%以上にする。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 相手の目を見て話ができることを期待する。 挨拶運動だけでなく、日常の挨拶の励行を進めることを期待する。
		個別指導の徹底と日々の呼びかけにより、年間出席率が80%以上になるようにする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く声掛けの実施を期待する。 欠席しがちな生徒への呼びかけを期待する。
		1か月に1度生活習慣チェックの実施と保健だよりの発行を行い、生徒の自己管理に対する意識向上を図る。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 可能な範囲で朝食の大切さを伝えることを期待する。 朝食摂取率向上のための指導を期待する。
		生徒個々の状況を理解し、部活動加入率35%以上を達成する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的で積極的な姿勢の表れで評価する。
		生徒会活動を通して主体的に活動できる生徒60%以上を達成する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的な姿勢に加え、教員が寄り添っている成果として評価する。 主体的な活動を継続的に指導することを期待する。
ウ	多様な生徒に対応した授業の展開	基礎力の向上と定着を図り、基礎力定着テストで全体平均70点以上を達成する。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 点数にとらわれず学習意欲を重視することを期待する。 教材の使用法の工夫し、一層の成果を期待する。
		教員の授業力向上を図り、生徒アンケートで授業満足度(4段階評価)に「満足している」「どちらかと言えば満足している」と答える生徒の割合が80%以上にする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員の授業力向上に真摯に向き合ってきた成果で評価する。
		スクーリングは年間計画通り100%実施し、テストは1月上旬までに最終回のテストを受験する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後も教職員と生徒の信頼関係を期待する。 今後も継続して指導することを期待する。
		授業アンケートの「質問しやすい雰囲気」で授業に取り組むことができる」、「授業中での発言のしやすさが確保されている」という項目で、「満足している」「どちらかと言えば満足している」と答える生徒の割合が70%以上にする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員と生徒の信頼関係や心理的安全性に配慮した成果は評価する。 見学したが学びやすい環境である感じ、今後の継続を期待する。
エ	積極的な地域貢献	地域の防災機関と連携し、防災講座を計画・実施して、防災知識と意識を高め、災害時に地域社会に貢献できるようにする。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練に積極的に参加を期待する。 自治体との連携を工夫することを期待する。

様式第4号

		Xを1週間に1回以上更新し、定時制の教育活動についてアピールする。学校説明会や公開授業週間の機会を利用して、教育活動を広く周知する。	A	A	・継続的な情報発信は評価する。 ・今後も継続的な発信やアピールを期待する。
		「行きたい学校づくり」推進事業(ICT活用)における学校間連携の研究に協力していく。	A	A	・今後も継続的な協力と連携を期待する。 ・推進事業の継続を期待する。
オ	個に応じた丁寧な進路指導	進路シラバスを充実させ、体系的なキャリア教育を行う。就業状況カードを活用し、在学中及び卒業後の就労に繋げる。	B	B	・今後も個に応じた進路指導の充実を期待する。 ・体系的なキャリア教育の実施を期待する。
		進路研修や社会人講話などを通して、在学中から生徒の就労への意識を高める中で、卒業予定者の進路決定率が100%になるよう指導する。また、法人会、振興会と連携し、社会人講話等の機会を設け、生徒の就労支援の充実につなげる。	B	B	・今後も寄り添った指導の継続を期待する。 ・各種の事業を進路決定につなげることを期待する。
カ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進	年間を通し、各種研修会、講演会を3回実施し、教職員の資質能力の向上を図る。また、定期訪問を活用し、特別支援教育の視点からの生徒指導について理解を深める。	A	A	・教職員の資質向上に期待する。 ・今後さらに実践の成果を期待する。
		特別支援教育・人権教育の研修に、できるだけ多くの教職員が参加し、全職員で情報共有を図る。	A	A	・今後も多様な生徒への丁寧な対応を期待する。 ・研修の継続を期待する。
キ	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	計画的に休暇を取得したり、定時退勤日を設けて心身のリフレッシュを図る。	A	A	・休暇取得に対して管理職からの積極的な声掛けを期待する。 ・より働きやすい職場の構築を期待する。
		働きやすい環境を整備し、職員の安全と衛生に配慮する。	A	A	・環境整備の継続を期待する。
ク	教育目標達成のための適切な財務執行	コンプライアンス通信やコンプライアンス動画等を活用し、グループワーク等を行い、教職員の意識向上を図る。	A	A	・今後も継続的に互いに声を掛け合うことを期待する。 ・教職員の意識向上を図ることを期待する。
		・業務改善提案実践3件以上。 ・内部統制制度「リスク有り」業務についての発生ミス0件。 ・複数年の課題解消1件以上。	B	B	・今後も継続して適正な事務執行を期待する。 ・業務改善を期待する。